(一社)熊本県サッカー協会

公　式　記　録

マッチコミッショナー	主　審
金城　武治	小林　輝

大会名：平成30年度 第40回 九州高等学校（U－１７）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会）　マッチNo.［15］

日時	2019年2月16日　15:45	試合形式	60分	会場	熊本県民総合運動公園スポーツ広場（人工芝）				
天候	くもり時々晴れ	気温	9.0 ℃	湿度	55.0 %	風	弱	ピッチ状態	観客数
マッチコミッショナー	金城　武治	副審１	池田　辰哉	第４の審判	座安　一徹	芝	人工芝	200 人	
主審	小林　輝	副審２	和田　雅貴	記録担当	杉本　陽一	表面	乾燥		

佐賀県立武雄高等学校					沖縄県立那覇西高等学校
	0	0	前半	0	0	
		0	後半	0		
			延長前半			
			延長後半			
Kick off			P K		Kick off

交代 No.	交代 out時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	シュート 計	得点	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	得点	シュート 計	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 out時間	交代 No.
								三好　光輝	1	GK	GK	1	新垣　凱斗								
								金田　遼太郎	4	DF	DF	2	中山　聖				1				
								松尾　心夢	5	DF	DF	3	古波津　琉来								
								平木　洵太	6	DF	DF	4	具志　優							48分	
								宮﨑　遊大	14	DF	DF	5	仲程　飛雄			2					
								岩永　翔斗	8	MF	MF	7	髙良　英希							51分	
								鈴山　晃平	10	MF	MF	8	山川　樹			1					
								井上　宜大	11	MF	MF	10	伊佐　航平								
								田中　孝夜	20	MF	MF	11	友利　大河							40分	
	28分							山口　涼風	9	FW	MF	15	銘苅　敢士				1			40分	
				1				山下　裕大	13	FW	FW	18	仲西　泰盛			1				55分	
								櫻井　瞭輝	17	GK	GK	12	西山　祐人								
								吉居　隆之介	2	DF	DF	9	山城　暉一朗								4
								渕上　翔真	19	DF	DF	16	壽　進之介								
9								大島　陸人	3	MF	MF	6	照屋　圭人								11
								坂井　準弥	7	MF	MF	13	安室　禎啓								
								馬場　明永夢	12	MF	MF	14	工藤　海人								18
								陣内　亜由武	16	MF	MF	17	岸本　大和								15
								森　香耀	15	FW	MF	19	高良　明志								
								松尾　耕汰	18	FW	MF	20	上原　琉暉								7

警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由	監督 唐川　大樹						監督 平安山　良太					警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由
					延後	延前	後半	前半	チーム合計		前半	後半	延前	延後						
					0	0	1	0	1	シュート	6	4	2	0	0					
							4	4	8	GK	2	1	1							
							1	0	1	CK	7	3	4							
							4	3	7	直接FK	3	1	2							
							0	3	3	間接FK	1	1	0							
							(0)	3	(3)	(ｵﾌｻｲﾄﾞ)	(1)	(1)	0							
										PK										

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過記録例］：～ドリブル,→ゴロのパス,↑浮き球パス,×混戦,Sシュート,Hヘディング

PK戦の経過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

［試合時間］ 前半　：［：］、後半　：［：］、合計　　：　［　：　］

【戦　評】　　【記入者：中山　恵太　】

武雄高校、那覇西高校ともに４－２－３－１のシステムで試合開始した。武雄はＦＷ⑨山口を狙ったロングボールと前線からのプレッシングにより主導権を握ろうとする。対する那覇西はＤＦ②中山、⑤中程を中心とするビルドアップにより長短使い分けたパスワークでボールを保持し、主導権をにぎる。那覇西が試合を優勢に進めるも武雄の強固な守備がバイタルエリアへの侵入を許さない。武雄もＦＷ⑬山下がＤＦラインの背後を狙い続け、ボールを奪ってからシンプルに縦に速い攻撃を仕掛けるも互いに決定的なシーンを生み出せず、スコアレスで試合終了した。